

開講学科	生命情報学専攻	前橋工科大学 シラバス																																	
科目名	インターンシップ	標準対象年次	選択/必修	科目コード																															
		1年次	選択	35001301																															
担当教員	坂田 克己・大柳 一	単位数	学期	曜日	時限																														
		2単位	後期	集中																															
授業の教育目的・目標	コンピュータプログラム開発現場での実際の問題を解決する能力を習得する。																																		
学科の学習・教育目標との関係	高度かつ実地的な問題解決能力を習得する。																																		
キーワード	問題解決能力																																		
授業の概要	開発現場における問題解決に関する演習を行う。大学院の学生に求められる能力の1つが現場の問題の解決能力である。本演習では、クライアント側から与えられた開発現場の問題を、解決するプロセスを体験し、習得してきた技術をどのように問題解決に役立てるかといった、問題解決のための調査・分析方法を体得する。																																		
授業の計画	<table border="1"> <tr> <td>第1回：</td> <td>担当教員（学外からの非常勤講師）が実際に行っている生命情報解析の研究開発現場の業務に即した課題を与える。履修者はその課題を解くための計算機プログラムを自ら作成し解析を行う。結果はレポートに纏めて提出すると共に、プレゼンテーションを行う。</td> </tr> <tr> <td>第2回：</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第3回：</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第4回：</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第5回：</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第6回：</td> <td>開発現場と課題、解析法およびプログラム言語の解説と実習、演習課題の説明（担当：大柳）</td> </tr> <tr> <td>第7回：</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第8回：</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第9回：</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第10回：</td> <td>演習の実施（課題分析・プログラム作成・プログラムの動作確認・発表スライドの作成）、プレゼンテーション発表会とまとめ</td> </tr> <tr> <td>第11回：</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第12回：</td> <td>（担当：坂田）</td> </tr> <tr> <td>第13回：</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第14回：</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第15回：</td> <td></td> </tr> </table>					第1回：	担当教員（学外からの非常勤講師）が実際に行っている生命情報解析の研究開発現場の業務に即した課題を与える。履修者はその課題を解くための計算機プログラムを自ら作成し解析を行う。結果はレポートに纏めて提出すると共に、プレゼンテーションを行う。	第2回：		第3回：		第4回：		第5回：		第6回：	開発現場と課題、解析法およびプログラム言語の解説と実習、演習課題の説明（担当：大柳）	第7回：		第8回：		第9回：		第10回：	演習の実施（課題分析・プログラム作成・プログラムの動作確認・発表スライドの作成）、プレゼンテーション発表会とまとめ	第11回：		第12回：	（担当：坂田）	第13回：		第14回：		第15回：	
第1回：	担当教員（学外からの非常勤講師）が実際に行っている生命情報解析の研究開発現場の業務に即した課題を与える。履修者はその課題を解くための計算機プログラムを自ら作成し解析を行う。結果はレポートに纏めて提出すると共に、プレゼンテーションを行う。																																		
第2回：																																			
第3回：																																			
第4回：																																			
第5回：																																			
第6回：	開発現場と課題、解析法およびプログラム言語の解説と実習、演習課題の説明（担当：大柳）																																		
第7回：																																			
第8回：																																			
第9回：																																			
第10回：	演習の実施（課題分析・プログラム作成・プログラムの動作確認・発表スライドの作成）、プレゼンテーション発表会とまとめ																																		
第11回：																																			
第12回：	（担当：坂田）																																		
第13回：																																			
第14回：																																			
第15回：																																			
受講条件・関連科目	生命情報解析分野で比較的に良く用いられている Perl 言語を用いた演習を行う。教員からは Perl 言語の基本的なレクチャーを行う。																																		
授業方法	演習形式で行う。概略方法の講義、問題提示、演習、発表、レポートを実施する。学生は生命情報科学の課題に関する解析プログラムを作成する。																																		
テキスト・参考書	資料を準備する。また必要に応じてその都度、参考図書を提示する。																																		
成績評価	・試験（%） ・プレゼンテーション及びレポート（100%）																																		
履修上の注意	インターネットで検索するなどの方法で主体的に関連する技術を調査すること。課題に関する質問や疑問点は学内担当教員のアドバイスを受けること。																																		